

## 学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 岐阜総合学園高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和4年2月25日(金)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者
- |     |       |                |
|-----|-------|----------------|
| 会長  | 神谷 政人 | (社) 中部地域づくり協会  |
| 副会長 | 木下ひかる | 岐阜美容専門学校副校長    |
| 委員  | 長屋 恭一 | 同窓会長           |
|     | 熊田ますみ | 平成医療短期大学教授     |
|     | 遠山 武美 | 須賀地区兼須賀東地区自治会長 |
|     | 鬼頭さとみ | P T A役員(副会長)   |
|     | 伊藤 明代 | P T A役員(副会長)   |
- 
- |     |        |        |
|-----|--------|--------|
| 学校側 | 野田 正明  | 校長     |
|     | 宇佐美理恵子 | 事務部長   |
|     | 伏見 圭太  | 教頭     |
|     | 吉田美智代  | 教頭     |
|     | 岡田 心一  | 教務主任   |
|     | 片桐 一色  | 進路指導主事 |
|     | 郷 龍雄   | 生徒指導主事 |

### 5 会議の概要

- (1) 本年度の教務部、進路指導部、生徒指導部等の取組報告
- (2) 本校の教育活動全般について
- (3) 地域連携協力の在り方や学校への期待、質問、提案等

#### (1) 教務部の取組等に係る意見・感想・提案等

- 意見1：コロナ禍でICTの活用は必須である。よく活用されており、海外遠征していた生徒にも活用できたのはよかった。
- 意見2：新学習指導要領に向けた準備が着々と進んでいるようであるが、本校ならではのカリキュラムの作成を期待する。
- 意見3：「あの人に会いに行こう」で、私のところに3名の生徒がインタビューに来てくれた。すごく礼儀正しく積極的に質問してくれた。この取組は、職業の表面的なことではなく、人との関係づくりの核の部分を知ることができると思った。
- 意見4：「総合的な探究の時間」は新学習指導要領の目標に照らし合わせたテーマで実施されているか。それぞれの系列に任せて進めることもよいのではないかと。  
⇒全体のテーマについて、新学習指導要領に合わせて計画を立てたうえで、各系列の実情に合った内容を実施する時間も設けている。
- 意見5：総合学科ということもあり、タブレットではできることが限られる中で少しでもwebでできたことはよかったと思う。Web授業はありがたかった。
- 意見6：中学生の高校見学会に参加した人数(4日間で767名)から、貴学への興味・関心

の高さがうかがわれる。

意見7：情報発信は、ホームページの充実は大切である。更新が多かった点はよい。コロナ禍でPRが出来ない中、アクセスしたくなるホームページを作成してほしい。また、部活動での活躍が盛んに新聞に載っていたが、メディアを使っているいろいろな活動をもっと紹介してもらってもいいのではないかと。特に総合的な探究の時間などは話題になると思う。

意見8：本校の特色あるカリキュラムと学習指導を進めていると思うが、国公立等の進学を目指したコース・指導はどのように行っているのか。補習はどのような形で実施しているのか。

⇒1～3年生に対し、放課後の補習を行っている。また、SS（ステップアップセミナー）として、高度な内容についての特別指導を行っている。

## （2）進路指導部の取組等に係る意見・感想・提案等

意見1：1年ライフプラン発表会に2・3年代表が参加し、発表したことは、1年生には良い刺激をもたらすので、今後も継続するとよい。

意見2：自分がどうありたいかを知るためのキャリアデザイン、想像や自己分析、イメージ作りなどができないと、行きたい学校も自分が輝き生きがいを持つ職場も分からないのではないかと。生徒本人の問題でもあるので個人的な指導が大変だと感じた。

意見3：進路指導は各系列が前面に出て行うことが望ましい。進路指導部のあり方を考えてほしい。

⇒進路指導部が中心となり、各系列の専門性を生かした進路指導をまとめることで、生徒たちに特色ある進路先を提供していきたい。

意見4：進路指導の難しさを感じた。就職・進学試験に不合格で進路変更をするのは大変だと思う。キャリア発達が未熟であるとあったが、これからの指導ではキャリア発達の進まなかった生徒に対する対応とともに、保護者もキャリアについて学び、家庭でもしっかりと話し合ってもらうことが大切である。

意見5：進学志向の生徒が多くなっているとよく聞く。だからと言って進学指導に偏ることはどうかと思う。一般受験者は少なく、就職する生徒もいるという現状を考えてほしい。

意見6：本当に自分の将来についてしっかり考えている生徒はどれくらいいるのか。

⇒1年に導き出したライフプランに沿って進路を決めていく生徒は8割を超えている。

意見7：卒業後の離職や退学、進学した生徒は、その後の進路について何か調査はあるのか。

⇒離職、上級学校の退学については、進路先、本人からの連絡や、来校時にアンケートで調査している。

## （3）生徒指導部の取組等に係る意見・感想・提案等

意見1：月に1回だったカウンセリングを月2回実施したことはよかったと思う。コロナ禍で今までとは異なる状況であるため、生徒に寄り添ってもらいたい。SNSの利用についての指導も継続して実施してもらいたい。情報モラルに関しては講演以外に指導することはあるか。

また、生徒指導でのアンケートを実施について、心の悩みや不安、いじめについてのアンケート結果により、その後、何か対応があるか。

⇒気になった生徒から聞き取りを行い、教員間で情報共有する。場合によっては生徒指導会議を実施する。

意見2：「心の病」を訴える生徒が多く出ていると聞く。関係諸機関との連携を今まで以上に密にしながらの指導が望まれる。また、本校教職員が共通理解のもと指導する必要がある。生徒の悩みに注意をはらい早めにカウンセリングを進めることが大切である。

意見3：遅刻が多い学年は交通事故数が多いように見える。時間に余裕をもって行動してほしい。

意見4：選挙権が18歳、成人も18歳と高校のうちに大人としての責任や一般常識等の指導が必要になってくる。人間教育をお願いしたい。

意見5：服装自由化について動き出した学校もあるか？本校の事情（産業教育）も考えながら時代に適応した着用規定を見直す必要もある。自由化は考えているのか？

⇒県内では自由化にふみきった学校もあるが、本校は現段階では考えていない。今後、生徒会がアンケート等で規定について生徒から意見を聞き取り生徒指導部と話し合っていく予定である。

#### （4）本校の教育活動全般、地域連携協力の在り方や学校への期待、質問、提案等

意見1：生徒の居場所、学校生活で落ち着ける場所（空間）が大切だと思う。クラス（HR）以外に生徒が落ち着ける場所はあるか。

⇒教育相談室やスクール相談員の常駐する保健室を訪れる生徒はいる。また、本校は他校より教員が多いため、話を聞いてもらえる教員のところに訪れる場合もある。

意見2：今はコロナ禍で依頼していないが、2年前まで太鼓部に岩野田地域の祭り行事に参加協力を依頼していた。地域の評判がよく「コロナ感染が収束し祭り行事の再開には総合学園の太鼓部に参加協力してほしい」と願っておられる。

意見3：コロナ禍での学校教育は大変だと思う。高校時代はいろいろなことを吸収し、社会人としての準備の大切な時間なので、一人一人に寄り添った指導をお願いしたい。そして高校で学んだことが卒業後も就職先や進学先への聞き取りアンケート等をして頑張っている状況を把握できるとよい。

意見4：保護者へのアンケートで、タブレットについてのことがあったが、それは活かされるか？

⇒11月2日にオンライン学習支援に関するアンケートを実施した。結果から、活用ツールとして今後準備が必要であると再認識し、機器の充実などに取り組んだ。

意見5：全体的な問題として、本校の魅力を引き出すためにはどうすればよいか。各系列の色濃い特色・部活動の活発化など原点回帰が大切ではないか。

⇒まだまだ総合学科を理解していない中学校の先生、保護者が多いと思われる。原点に戻り、本校の特色をわかりやすい形でアピールしていきたい。

## 6 会議のまとめ

まん延防止等重点措置発令中であるため、第3回学校運営協議会は書面開催とした。委員からは、本校の教育活動に対して意見を多数得られた。一方、再来年度60周年を迎える本校に課せられた使命や本校の強みをより打ち出していくことも求められた。今回の意見を真摯に受け止め、さらに魅力ある学校運営に励みたい。